WACOMS
WATER WELLCARE TECHNOLOGIES

水道直結型

# WACOMS TRUST SERVER

# 取扱説明書

この度はワコムストラストサーバー ( 水道直結型 ) をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品はティーサーバーに浄水器を搭載した製品です。
今後長くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後も、必要に応じてすぐ確認できるよう、大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。
※飲用基準に適合した上水道水以外を原水に使用しないでください。
　保証対象外となります。あらかじめご了承ください。


安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
浄水器各部ユニット・フロー図・・・・・・・・・・・・ P6
水栓分岐方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
設置方法 ( ティーサーバー本体 )・・・・・・・・・・・・ P8
設置方法 ( 浄水器 )・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
稼動前確認方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
設定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13
パウダーの補給方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18
注出方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19
メンテナンスサイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20
お手入れ方法
　外観清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21
　カップステージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21
　内部清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22
　キャニスタ・キャニスタパイプ・・・・・・・・・・・・ P23
　ミキシングボウル・排気ダクト・ファンフィルター・・ P24
　リンスクリーニング・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26
浄水フィルターの交換
　フィルター交換前確認作業・・・・・・・・・・・・・・ P27
　フィルター交換作業・・・・・・・・・・・・・・・・・ P28
　フィルター交換後確認作業・・・・・・・・・・・・・・ P31
長期保管時・引き上げ時のお手入れ・・・・・・・・・・ P32
トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・・ P33
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P34

# 安全上のご注意

## ● 絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例

| | |
|---|---|
| | ⃠は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 |
| | ●は強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 |

## ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。<br>異常動作して発火・けがをすることがあります。 | 湿気の多い場所で使用したり、水につけたり、水をかけたりしないでください。<br>ショート・感電の恐れがあります。 |
| 機器を落としたり、衝撃を与えないでください。<br>火災・感電の恐れがあります。 | 濡れた手で機器(電源コードを含む)を触らないでください。<br>誤作動、感電の恐れがあります。 |
| 日本国内のAC100V 50/60Hz 12A以上のコンセントに接続して使用してください。<br>火災・機器の故障の原因になります。 | 電源コードのコンセントの差し込みが緩い場合コンセントからプラグを抜いて使用しないでください。<br>火災・機器の故障の原因になります。 |
| 動作中は機器内部に触れないでください。お手入れ等はティーサーバー及び浄水器の電源を切って行なってください。<br>けが、感電の恐れがあります。 | 不必要に電源コードを抜き差ししたり、傷つけたり、加工したりしないでください。<br>火災・機器の故障の原因になります。 |

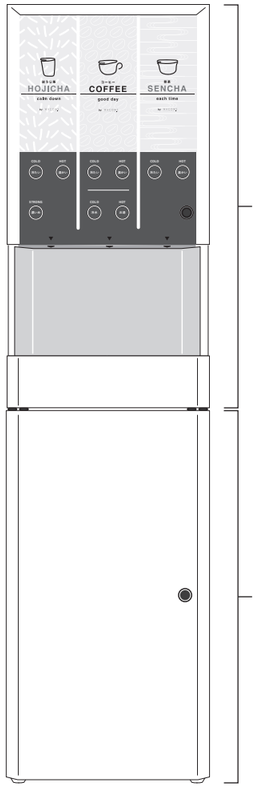


## ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| 電源コードを引っ張って差し込みプラグを抜かないでください。<br>コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。 | 熱湯が出ることがあります。ご注意ください。<br>やけどの恐れがあります。 |
| 本体に転倒防止チェーンを必ず取り付けてください。<br>本体が転倒し、火災・感電・怪我の恐れがあります。 | アース線を建物のアース端子に接続してください。また、雷天時は電源プラグを抜き、機器を使用しないでください。<br>火災・感電の恐れがあります。 |
| キャニスタ等に推奨する原料以外のものを入れないでください。<br>機器の故障や衛生問題の原因になります。 | 部品の洗浄や原料、カップ等の衛生管理には十分ご注意ください。<br>衛生問題の原因になります。 |
| 水道法の基準を満たした水道水を使用してください。<br>機器の故障や衛生問題の原因になります。 | 子供だけで使わせたり、乳幼児の手が届かないようにしてください。<br>けが・やけどの恐れがあります。 |
| 熱の影響を受けやすい所、直射日光を受ける所や、レンジ・ストーブ・コンロ等の熱源の近くには設置しないでください。<br>機器の故障、変色、変形の原因になります。 | キャニスタやミキシングボウルの洗浄に自動食洗機や食器乾燥機を使用しないでください。<br>熱で変形等の恐れがあります。 |
| 製品に対して平坦な場所に設置してください。また、製品の上に乗ったり物を置かないでください。<br>倒れてけがしたり、機器の故障の原因になります。 | お手入れにはクレンザー、シンナー、ベンジン等を使用しないでください。<br>変形、変色の原因になります。 |
| 長期間使用しない場合は製品内から水、原料を抜いてください。<br>原料が固まり、機器の故障、衛生問題の原因になります。 | キャニスタの中に原料を入れたまま電源を切って放置しないでください。<br>原料が固まり、機器の故障、衛生問題の原因になります。 |
| 製品は5°C～35°Cの環境でご使用ください。また、浄水器に水圧0.4MPa以上の水や、水温40°C以上の温水を通さないでください。<br>機器の故障の恐れがあります。 | 注出ボタンは濡れた状態で放置しないでください。<br>表面スイッチが濡れていると誤動作につながります。 |
| 異常、故障が発生した場合は直ちに使用を中止し電源プラグを抜いてください。 | 浄水器の廃棄水は飲料水や生活用水を含む全てに使用しないでください。 |
| 稼動時は必ず分岐コックが開いていることを確認してください。<br>機器の故障の原因となります。 | 浄水器のフィルターは、交換目安を守ってご使用ください。<br>機器の故障の原因となります。 |

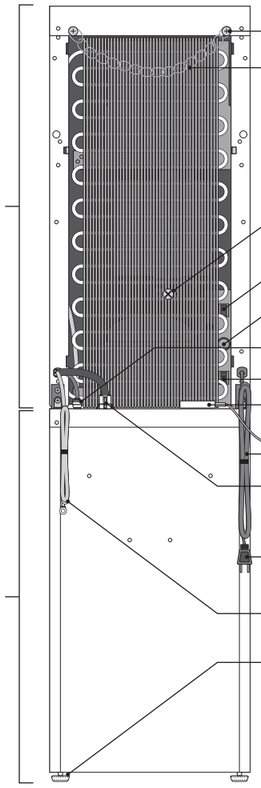
# 各部名称

## ● 本体名称



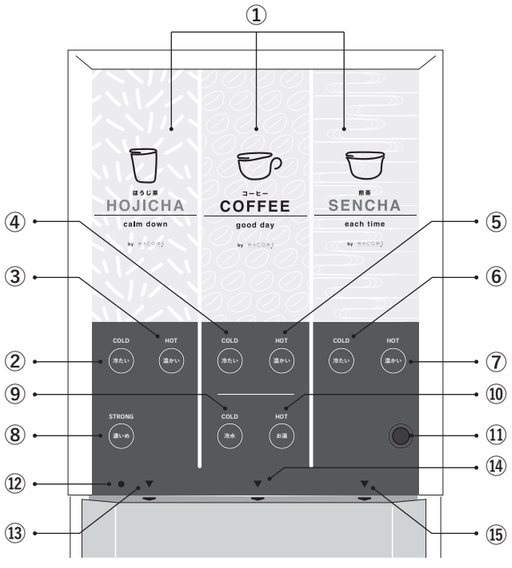

本体

キャビネット



- チェーン取り付けネジ
- 転倒防止チェーン
- 排水キャップ
- ヒータースイッチ
- ヒューズ
- チューブ及びジョイント
- 電源スイッチ
- 電源タップ
- 電源コード
- コネクタ
- 差し込みプラグ
- アースコード
- レベルアジャスター

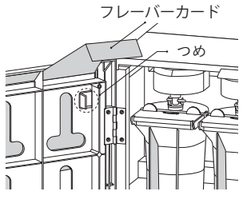
## ● 操作部名称




① フレーバーカード
② コールド1ボタン
③ ホット1ボタン
④ コールド2ボタン
⑤ ホット2ボタン
⑥ コールド3ボタン
⑦ ホット3ボタン
⑧ パウダー増量ボタン
⑨ 冷水ボタン
⑩ 熱湯ボタン
⑪ 扉鍵
⑫ 明かりセンサー
⑬ 注出口1
⑭ 注出口2・湯水注出口
⑮ 注出口3

### フレーバーカードのセット

本体扉の裏のカードホルダーにフレーバーカードを挿し込んでください。
入れづらい場合は扉のつめを横から押して持ち上げながら挿し込んでください。

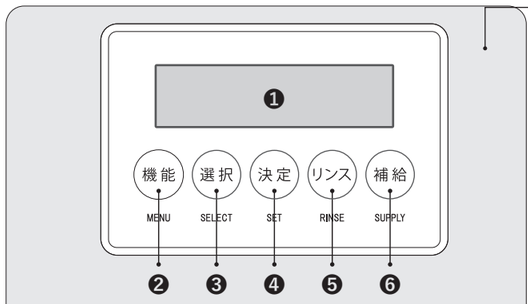



## ● 本体内部名称

① 本体フタ
② キャニスタ
③ キャニスタモーター
④ キャニスタパイプ
⑤ フレーバーカード
⑥ 中板
⑦ 本体扉
⑧ 排気ダクト
⑨ ミキシングボウル
⑩ カップステージフタ
⑪ カップステージ

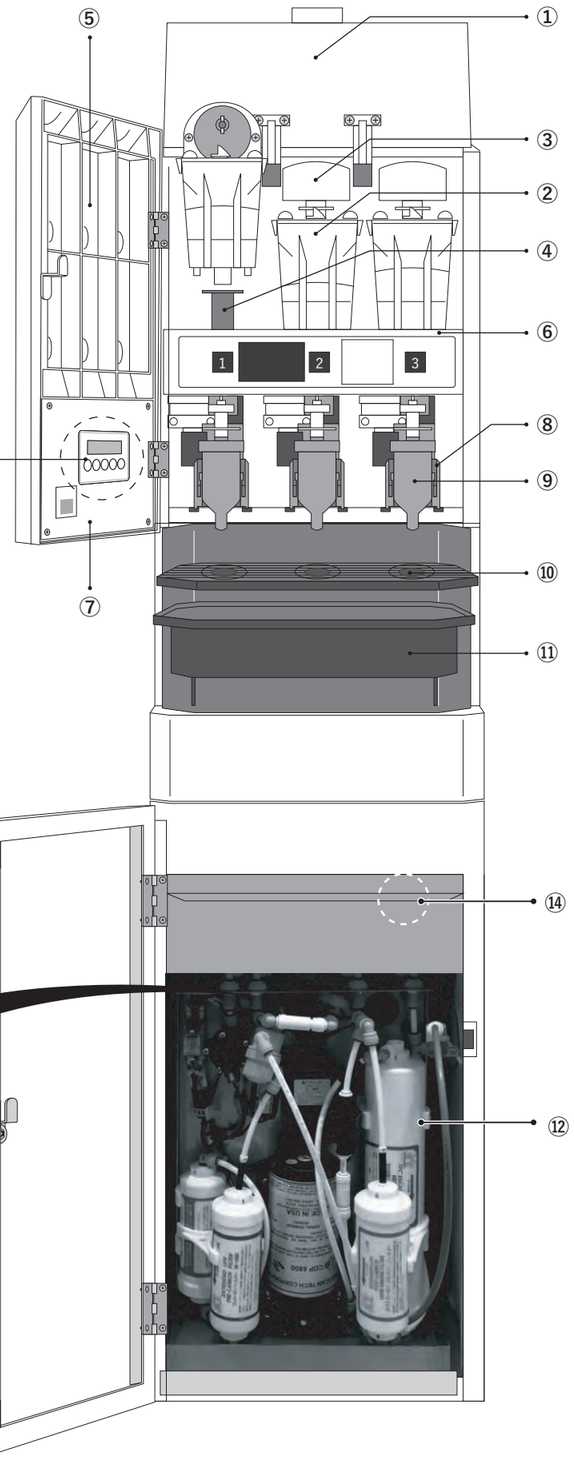
## ● DUV殺菌機能

本体の注出口と内部タンクにDUV(深紫外線)による殺菌装置が搭載されています。(P17 参照)




## ● 設定パネル

❶ 表示画面
❷ 機能ボタン
❸ 選択ボタン
❹ 決定ボタン
❺ リンスボタン
❻ 補給ボタン



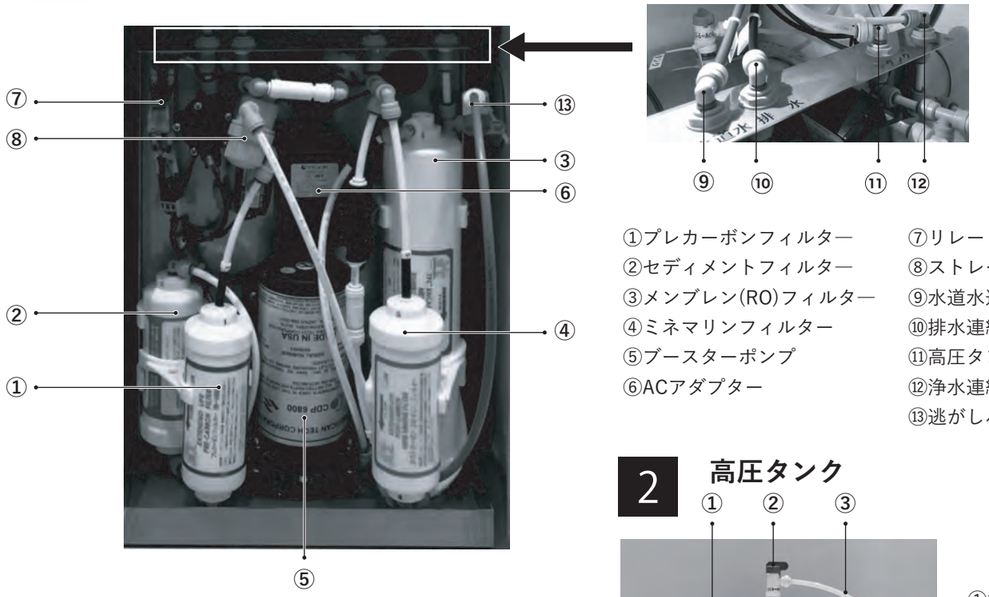

## ● 浄水ユニット各部名称

⑫ 浄水器
⑬ 高圧タンク
⑭ 電磁弁

浄水ユニットの奥に
高圧タンクがあります。

# 浄水器ユニット各部名称・フロー図

## 1 各部名称



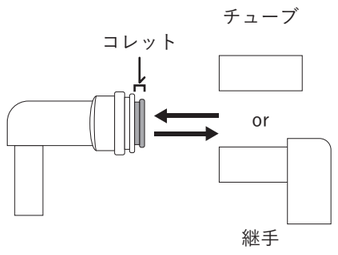

①プレカーボンフィルター
②セディメントフィルター
③メンブレン(RO)フィルター
④ミネマリンフィルター
⑤ブースターポンプ
⑥ACアダプター
⑦リレー
⑧ストレーナー
⑨水道水連結継手
⑩排水連結継手
⑪高圧タンク連結継手
⑫浄水連結継手
⑬逃がしバルブ

## 2 高圧タンク

①本体(貯水量約10L)
②タンクバルブ
（とじる←→あける）
③高圧タンクライン(黄色)

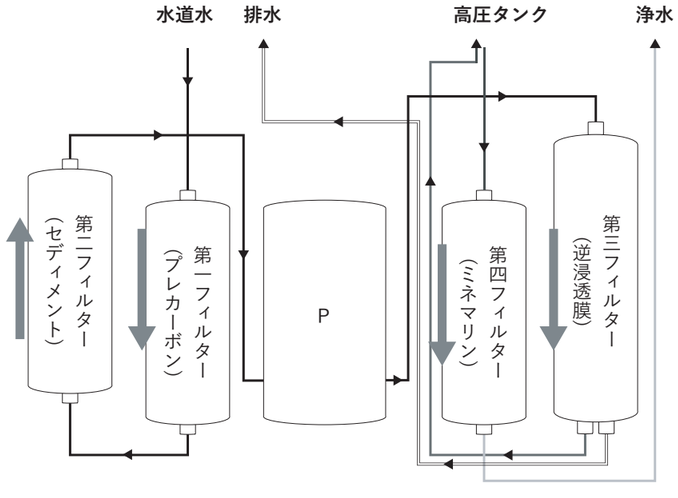
※「前面」のシールが正面になるように設置します。

## 3 チューブ・継手の取り外し、挿し込み方法




・チューブや継手を挿し込む際はしっかりと奥まで挿し込みます。
・チューブや継手を取り外す際はコレット部分を指で押さえて抜きます。

## 4 浄水フロー図






# 水栓分岐方法

## 1 分岐水栓の取付

ご使用の水栓に適合する分岐部材を、指定の手順で正しく設置してください。

※元栓・止水栓を閉じてから行ってください。

・分岐部材を取り付けた後に分岐止水コックを取り付けます。

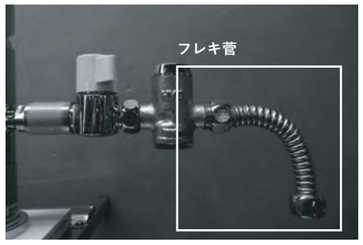
※分岐止水コックは[とじる]にレバーを回しておいてください。

## 2 減圧弁の取付

1 で取り付けた先に減圧弁を取り付けてください。

※減圧弁には向きがありますので、ご注意ください。

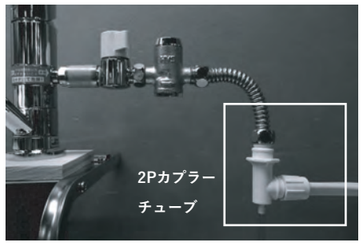
## 3 フレキ管の取付




予めサイズを調整したフレキ管をご用意ください。

減圧弁にフレキ管を取り付けた後に、シンク下に向くように調整します。

## 4 2Pカプラーチューブの取付




フレキ管に2Pカプラーチューブを取り付けます。

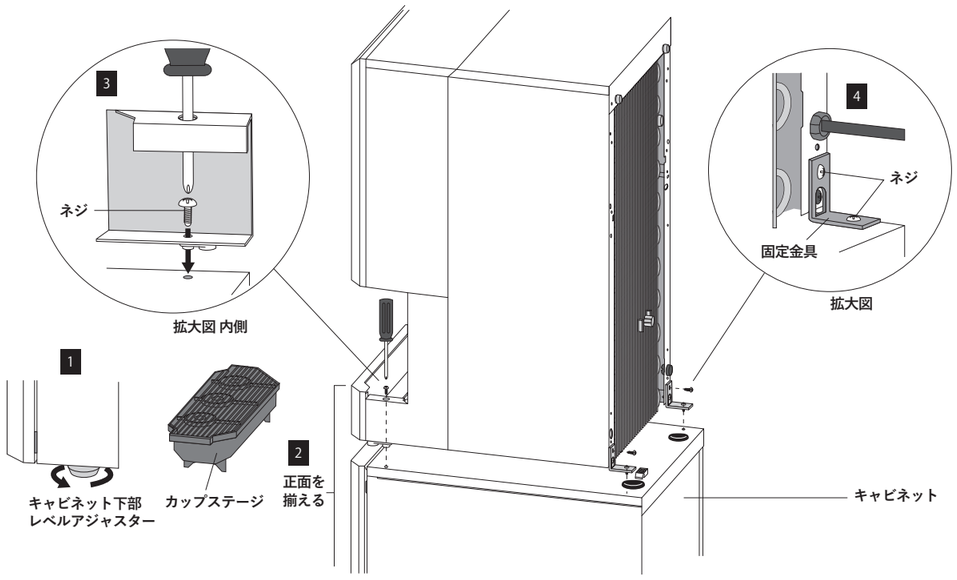
分岐止水コックが[とじる]の状態であることを確認してから元栓・止水栓をゆっくりと開けてください。
※水漏れや水が出ないことを確認してください。

# 設置方法(ティーサーバー本体)

## 1 設置場所

・屋内に設置してください。
・熱の影響を受けやすい所、直射日光の当たる所や、レンジ・ストーブ・コンロ等の熱源の近くには設置しないでください。
・水がかかるような場所には設置しないでください。
・製品の裏側と壁の間は10cm以上離して設置してください。
・平坦な場所に設置してください。

## 2 本体固定 （＋ドライバーをご用意ください）




### 1 平行になるように調整

キャビネットを平坦な場所に設置して、キャビネット下部のアジャスター(4箇所)をキャビネット自身が平行になるように調節してください。

### 2 本体とキャビネットの位置を調節

本体をキャビネットの上に乗せ、本体とキャビネットの側面と正面が揃うように位置を調整してください。

### 3 ねじを挿し込む

カップステージを外し、付属のねじを本体とキャビネットの穴に通して+ドライバーでねじ止めしてください。(左右2箇所)

### 4 L字の固定金具を止める

付属のL 字の固定金具を使用して、本体とキャビネットを図のようにねじ止めしてください。(左右2箇所ずつ)

⚠ 本体重量が20kg以上ありますので取扱にご注意ください。

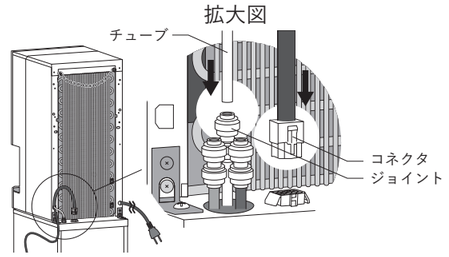


## 3 本体・キャビネット接続

・本体裏側から出ているコネクタをキャビネットのコネクタに接続してください。

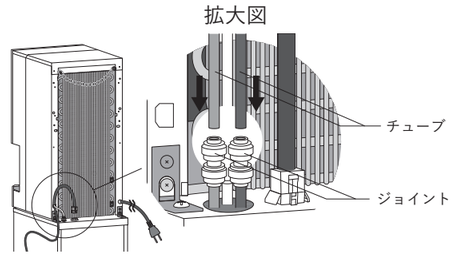
・本体裏側から出ている白いチューブをキャビネットのジョイントに奥までしっかり挿し込んでください。

※白いチューブに接続されているジョイントに挿し込みます。




⚠ チューブの挿し込みは、下のラインが見えなくなるまで挿し込んでください。

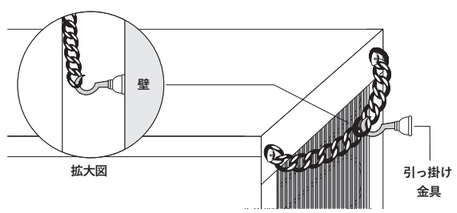
・水栓分岐方法(P7)で取り付けた2Pカプラーチューブをキャビネットのジョイントに挿し込んでください。
その際、同じチューブの色同士での接続をしてください。
(青色と青色、黒色と黒色)
接続が完了したら仮止めしている養生テープは剥がしてください。




## 4 電源・電源コード・アース線

・延長コードをコンセントに差し込み、キャビネット裏側へ貼り付けます。
※必ずP2~3の「安全上のご注意」をよくお読みください。
・本体裏側にあるアース線を建物のアース端子等に接続してください。また、アースを取ることができない場合は、漏電ブレーカーを取り付けてください。(漏電ブレーカーはご用意ください。)

## 5 転倒防止チェーン※引っ掛け金具はご用意願います。




・壁に引っ掛け金具を取り付け、製品裏側のチェーンを引っ掛けて固定してください。また、使用時や移動時などは製品を極力傾けないでください。

## 6 電源スイッチ・ヒータースイッチ

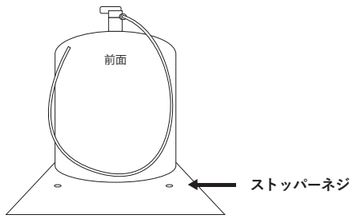
⚠ 浄水器の設置が完了し、給水準備が完了になってから電源スイッチを入れてください。

・浄水器の設置が完了してしばらくたった後に、熱湯ボタンを押して注出口より水が少し出ることを確認してからヒータースイッチを入れてください。(P12参照)
・長期間使用しない場合は、電源スイッチ・ヒータースイッチをオフにしてください。(P32参照)

# 設置方法(浄水器)

## 1 高圧タンクの設置

キャビネット奥に10Lタンクを設置します。
※ストッパーネジを超えた所に設置してください。
※「前面」のシールが正面になるように設置します。




## 2 浄水器の設置

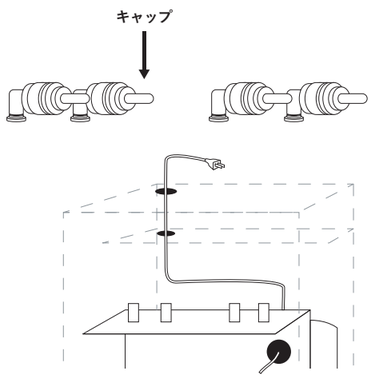
浄水器本体上部の継手に挿し込まれているキャップを外してください。

※P6の「チューブ・継手の取り外し、挿し込み方法」をよくお読みください。

※外したキャップは保管しておいてください。

※ストッパーネジの手前に設置してください。

浄水器の電源コードをキャビネット内中板左の穴に下から通し、そのまま上に通してキャビネットの外に出します。
※電源タンクに接続するのは設置完了してから行います。

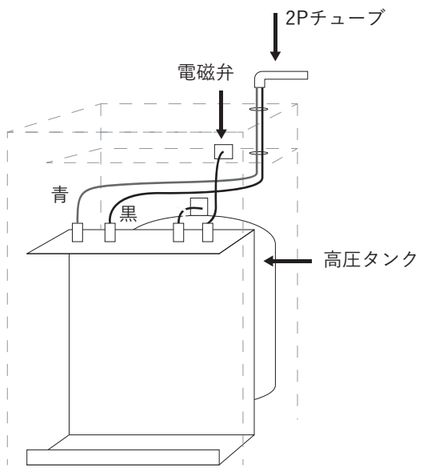



## 3 チューブの接続

キャビネット内に仮止めされている2Pチューブの青色のチューブを浄水器本体上部「水道水」部分の継手に挿し込んでください。
仮止めで使用しているテープは処分してください。
同様に2Pチューブの黒色のチューブを浄水器「排水」部分の継手に挿し込んでください。

電磁弁に接続されている白色のチューブを浄水器「浄水」部分の継手に挿し込んでください。

高圧タンクに接続されている黄色のチューブを浄水器「高圧タンク」部分の継手に挿し込んでください。




⚠ 各チューブはしっかりと奥まで挿し込んでください。



# 稼働前動作確認方法

## 1 浄水器通水、水漏れ確認

高圧タンクバルブ

逃がしバルブ

1 逃がしバルブが「とじる」になっていることと、高圧タンクバルブが「あける」になっていることを確認します。

2 分岐止水コックをゆっくりと「ひらく」に回してください。水栓から２Ｐチューブまでの箇所で水漏れが無いかを確認します。
次に、キャビネット内の接続箇所に水漏れがないかを確認します。

3 浄水器の電源コードプラグを電源タップに入れます。
浄水器が作動し、浄水が高圧タンクへ溜まっていきます。
※浄水器ユニットから水漏れがないことを確認してください。

4 造水がされていることを確認するために容器を用意し、逃がしバルブに接続されている緑色のチューブを容器に受けておきます。

その状態で逃がしバルブを「あける」にし、緑色のチューブから浄水が出てくるのか確認を行います。
確認後、逃がしバルブを「とじる」にします。

※浄水が出てこない場合は、以下の確認をしてください。
・分岐止水コックが「ひらく」になっているか。
・各チューブがしっかりと接続されて水が漏れていないか。

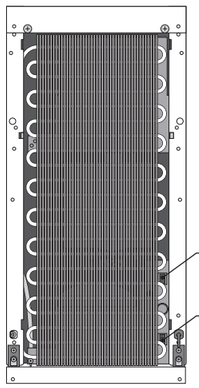
## 2 ティーサーバーの電源を入れる

1 キャビネット内の浄水器高圧タンクに水が溜まるのを待ちます。
タンクが空の状態から満水になるまで水温25°C時で40~50分程度かかります。

2 高圧タンクに水が十分に入ったことを確認してください。
持ち上げてみて、重たければ問題ありません。

3 ティーサーバー背面の電源スイッチを入れてください。
ティーサーバー、冷水タンク、温水タンクへの給水が始まります。

4 熱湯ボタンを押し、水が出てくることを確認してからヒータースイッチを入れてください。

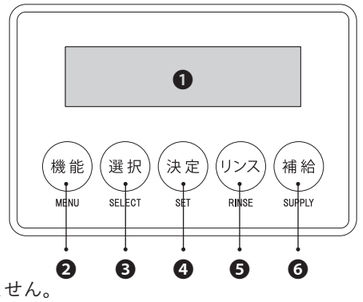





# 設定方法

本体扉裏側の設定パネルで機器設定を行います。
機能ボタンを押すと設定画面が表示され、再度機能ボタンで次項目へ移ります。
(設定画面の状態で20秒間操作がないと初期画面に戻ります。)

操作パネル




❶ 表示画面
❷ 機能ボタン
❸ 選択ボタン
❹ 決定ボタン
❺ リンスボタン
❻ 補給ボタン

※❻補給ボタンは基本的に使用しません。

## 設定パネル　設定画面の順序

HOT90 CLD05
1ｵﾁｬ 2ｵﾁｬ 3ｵﾁｬ
初期画面

↓

ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
ｶｲｼﾞｮ → ｷﾉｳﾎﾞﾀﾝ
1 メンテナンスモード …(P14)

↓

ﾒｲｶﾞﾗｾｯﾃｲ
1ｵﾁｬ 2■■■3ｵﾁｬ
2-1 銘柄設定へ …(P14)
初期設定：ﾒｲｶﾞﾗｾｯﾃｲ 1ｵﾁｬ 2ｵﾁｬ 3ｵﾁｬ

↓

HOT1 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ﾕﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

↓

COLD1 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ｽｲﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

↓

HOT2 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ﾕﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

↓

COLD2 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ｽｲﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

↓

HOT3 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ﾕﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

↓

COLD3 ﾐｷｼﾝｸﾞ ■■
ｽｲﾘｮｳ01 ﾊﾟｳﾀﾞｰ03

2-2 各注出口設定へ …(P14)
初期設定：各注出口共通
ﾐｷｼﾝｸﾞ 01
ﾕﾘｮｳ(ｽｲﾘｮｳ)01
ﾊﾟｳﾀﾞｰ 03

↓

ﾈｯﾄｳﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ
ｵﾌ
3 チャイルドロック設定へ …(P15)
初期設定：ﾈｯﾄｳﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ ｵﾌ

↓

HOTｵﾝﾄﾞｾｯﾃｲ
90°C
4 HOT温度設定へ …(P15)
初期設定：HOTｵﾝﾄﾞｾｯﾃｲ 90℃

↓

COLDｵﾝﾄﾞｾｯﾃｲ
05°C
5 COLD温度設定へ …(P15)
初期設定：COLDｵﾝﾄﾞｾｯﾃｲ 05℃

↓

ﾊﾟｳﾀﾞｰｿﾞｳﾘｮｳｾｯﾃｲ
10%
6 パウダー増量ボタン設定へ …(P16)
初期設定：ﾊﾟｳﾀﾞｰｿﾞｳﾘｮｳｾｯﾃｲ 10%

↓

ｱｶﾘｾﾝｻｰﾚﾍﾞﾙ
ｵﾌ ｹﾞﾝｻﾞｲLV:015
7 明かりセンサー設定 …(P16)
初期設定：ｱｶﾘｾﾝｻｰﾚﾍﾞﾙ ｵﾌ

↓

ﾌﾞｻﾞｰｾｯﾃｲ
ｵﾝ
8 ブザー設定 …(P16)
初期設定：ﾌﾞｻﾞｰｾｯﾃｲ ｵﾝ

↓

ﾉｰﾀｯﾁｽｲｯﾁﾓｰﾄﾞ
ｵﾌ
9 ノータッチスイッチモード設定…(P17)
初期設定：ｵﾌ

↓

DUVｾｯﾃｲ
ｵﾌ
10 DUV設定 設定…(P17)
初期設定：ｵﾌ

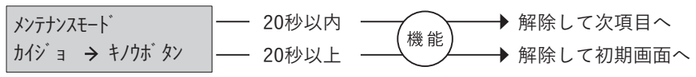
↓

HOT90 CLD05
1ｵﾁｬ 2ｵﾁｬ 3ｵﾁｬ
初期画面へ戻ります

※設定変更時、選択状態の項目が□で点滅します。

## 1 メンテナンスモード

メンテナンスモードを機能させます。メンテナンスモードでは誤動作を防止するためLEDが消灯し、前面ボタンの操作ができなくなるなど一部の機能が停止します。20秒以内に機能キーを押すと注出設定に移行します。
メンテナンスモードを開いて30分経つと、解除して初期画面へ戻ります。

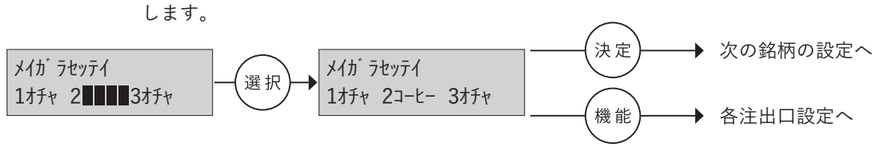



## 2 注出設定

各注出口の設定を行います。設定方法はHOT、COLD及び各注出口ともに同じです。

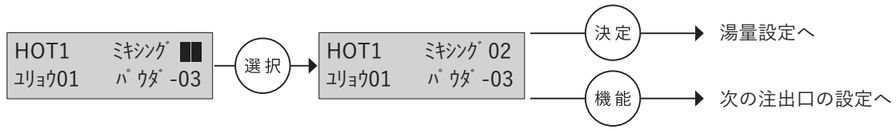
### 1 銘柄設定

使用するパウダー(お茶またはコーヒー)を選択ボタンを押して選択します。
「コーヒー」…泡等が残ってミキシングボウルが汚れやすい為、ミキシングボウル内をすすぐ工程を追加します。

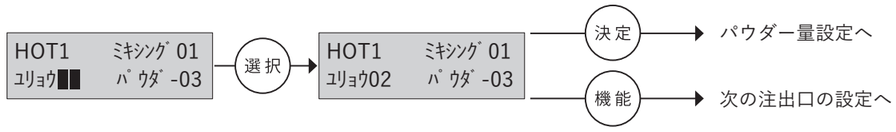



### 2 各注出口の設定

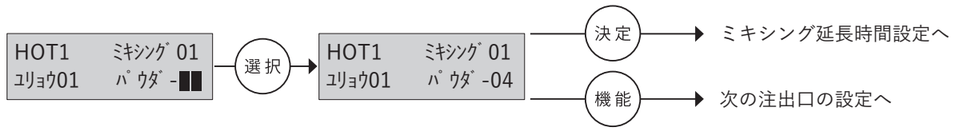
［ミキシング延長時間設定…1~10段階　0~4.5秒間(0.5秒刻み)］
ミキシングの時間を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすとミキシングボウルにパウダー投入完了後から、0.5秒間ミキシング時間が長くなります。
湯量設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。




［湯量(水量)設定…1~9段階　約80ml~約160ml］
湯量、水量を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすと注出量は約10ml増えます。
パウダー量設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。




［パウダー量設定…1~12段階　約0.4g~約2.6g］
パウダー量を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすと注出量は約0.2g増えます。(パウダーの粒度により投入される量は変化することがありますのでご注意ください、)
ミキシング延長時間設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。





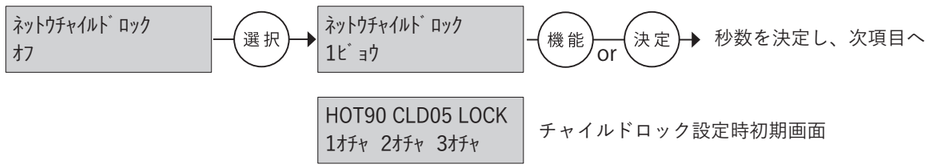

### 各パウダーの推奨設定値

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ほうじ茶 | 銘柄 ｵﾁｬ | ミキシング 05 | 湯量 9 | パウダー量 6 |
| コーヒー | 銘柄 ｺｰﾋｰ | ミキシング 05 | 湯量 9 | パウダー量 6 |
| 煎茶 | 銘柄 ｵﾁｬ | ミキシング 05 | 湯量 9 | パウダー量 6 |

※こちらは弊社通販サイトLILOCLEで販売のパウダーの推奨設定値です。
　濃さ・湯量などはお好みでご設定ください。

## 3 チャイルドロック設定

熱湯注出時のチャイルドロック設定を行います。
HOT1~3ボタン及び熱湯ボタンで熱湯を注出する場合に、設定した秒数の間ボタンを押し続けないと注出されません。
設定秒数を選択ボタンを押して選択し、決定ボタンを押します。
(選択ボタンを押すごとに　オフ→1ビョウ→2ビョウ→3ビョウ→オフ　の順番で切り替わります)
チャイルドロックの設定をした場合は、初期画面に「LOCK」の表示が出ます。

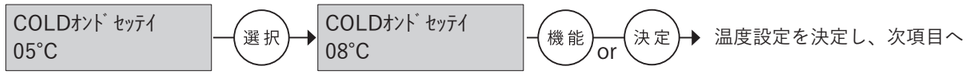



## 4 HOT温度設定

温水の温度設定を行います。
［温水温度設定…3段階　80°C、85°C、90°C］
(加熱する目標設定値ですので、常にこの温度で注出されるものではありません)
設定温度を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。

## 5 COLD温度設定

冷水の温度設定を行います。
［冷水温度設定…3段階　12°C、8°C、5°C］
(冷却する目標設定値ですので、常にこの温度で注出されるものではありません)
設定温度を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。



## 6 パウダー増量ボタン設定

パウダー増量ボタンを押して注出した時のパウダー増量割合の設定を行います。
［パウダー増量割合…5段階　10%、15%、20%、25%、30%］
パウダー増量割合を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。

ﾊﾟｳﾀﾞｰｿﾞｳﾘｮｳｾｯﾃｲ 10% → 選択 → ﾊﾟｳﾀﾞｰｿﾞｳﾘｮｳｾｯﾃｲ 15% → 機能 or 決定 → 増量割合を決定し、次項目へ

## 7 明かりセンサー設定

明かりセンサーの検知レベルを設定します。明かりセンサーを使用すると、本体周辺の明るさが検知レベル以下の状態が10分続いた場合に省電力モード(ナイトスリープモード)になります。(本体周辺の明るさが検知レベル以上になれば復帰します。)
[検知レベル設定…5段階　オフ、10、20、30、40、50]
検知レベル設定を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。
※ゲンザイLVの表示は現在の本体周辺の検知レベルを表示しています。(明るいほど数値が大きくなります)

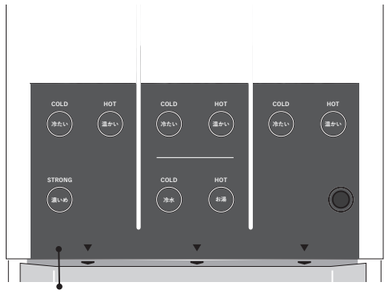
ｱｶﾘｾﾝｻｰﾚﾍﾞﾙ ｵﾌ　ｹﾞﾝｻﾞｲLV:015 → 選択 → ｱｶﾘｾﾝｻｰﾚﾍﾞﾙ 10　ｹﾞﾝｻﾞｲLV:015 → 機能 or 決定 → 検知レベルを決定し、次項目へ

### 明かりセンサーと省電力モード (ナイトスリープモード)

本体の明かりセンサーが周辺の明るさを設定した検知レベル以下で10分以上検知した(暗くなった)場合、省電力モードに移行します。
※周辺が明るくなると通常モードに復帰します。

### 省電力モード

・本体扉表面のランプ(LED)が全て消灯
・本体扉表面のボタンが無効(反応しない)
・製品内部のタンク内の湯温設定を60℃に変更




## 8 ブザー設定

ブザー音のオン/オフの設定をします。
ブザー音のオン/オフを選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。

ﾌﾞｻﾞｰｾｯﾃｲ ｵﾝ → 選択 → ﾌﾞｻﾞｰｾｯﾃｲ ｵﾌ → 機能 or 決定 → 設定を決定し、次項目へ



## 9 ノータッチスイッチモード設定

ノータッチスイッチモードに設定した場合、機体に触れなくてもボタン操作ができます。

ﾉｰﾀｯﾁｽｲｯﾁﾓｰﾄﾞ ｵﾌ → 選択

ﾉｰﾀｯﾁｽｲｯﾁﾓｰﾄﾞ ｵﾝ → 機能 or 決定 → 設定を決定し、次項目へ

## 10 注出口DUV設定

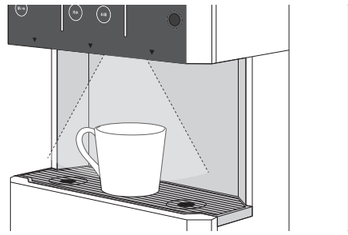
注出口DUV殺菌のオン/オフの設定をします。
注出口DUV殺菌のオン/オフを選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。

DUVｾｯﾃｲ ｵﾌ → 選択 → DUVｾｯﾃｲ ｵﾝ → 機能 or 決定 → 設定を決定し、初期画面へ

### DUV殺菌(Deep Ultra Violet　-深紫外線-)

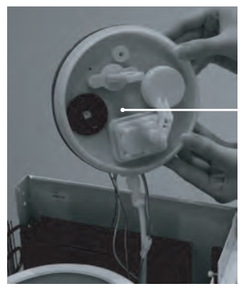
#### 注出口殺菌システム

注出口付近より、菌やウィルスに強い殺菌力を有するDUV(UV-C275nm)を注出中に照射し、カップと飲料を同時に殺菌します。



#### 内部タンク殺菌システム

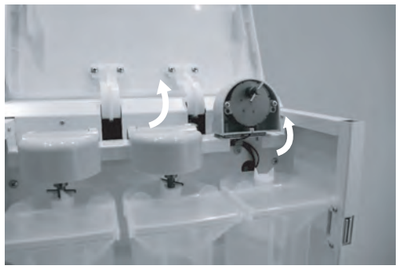
内部タンクにDUV(UV-C275nm)を搭載し、貯めている水に照射し殺菌します。



⚠ DUV照射口は覗き込まないでください。

# パウダーの補給方法

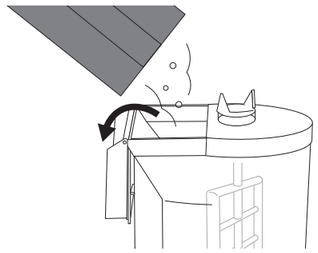
## 1 扉を開ける



本体扉を開けて、本体フタとキャニスタモーターを上側に上げます。

> 注意
> パウダーが湿気を帯びないように中板を温めています。
> 触るとやけどをする恐れがありますのでご注意ください。

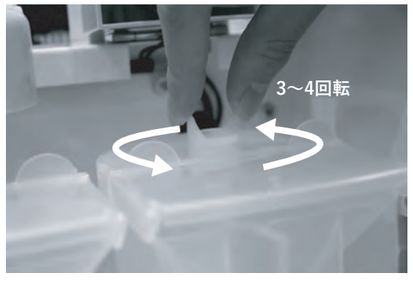
## 2 パウダーをキャニスタの中に入れる



キャニスタのフタを開けパウダーをこぼさないようにキャニスタの中に入れます。

※ご使用されるパウダーに関してはお買い上げの販売店にお問合せください。

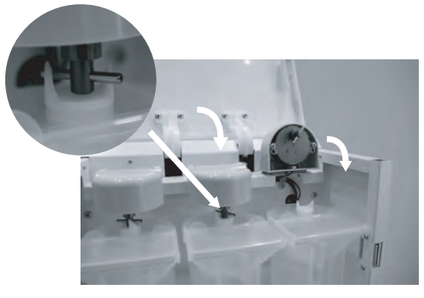
## 3 キャニスタ上部の軸を反時計回りに指で回す




キャニスタのフタを閉め、ミキシングボウルの中にパウダーが落ちるまでキャニスタ上部の軸を反時計回りに指で3~4回転程回して下さい。(キャニスタの中が空の時はパウダーがキャニスタの先端部分まで入らない場合がある為。)

※パウダーの粒子が細かくて重い場合、キャニスタモーターが回らずにコンコンコンと異音がすることがあります。その場合はキャニスタ内のパウダーを減らして下さい。

## 4 キャニスタモーターと本体フタを下げる

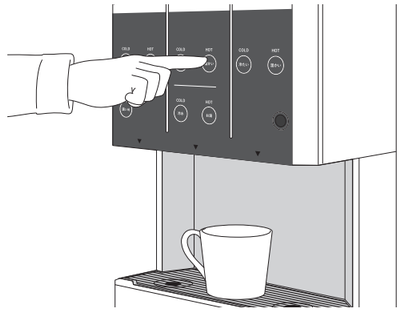


この時、左図のようにモーターの軸がキャニスタの軸とかみ合うようにキャニスタの軸を回してください。



# 注出方法

## 1 お茶やコーヒー



お好みの銘柄の注出口の下にカップを置いて、HOTまたはCOLDのボタンを押してください。設定内容に従って注出されます。

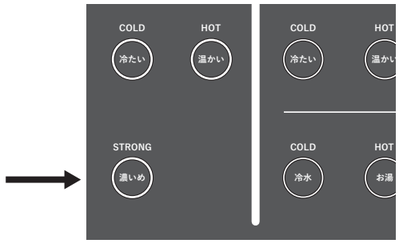
※注出中はボタンと注出口のランプが点滅します。
終了すると点灯に戻ります。注出終了を確認してからカップをお取りください。

## 2 熱湯・冷水

湯水注出口(中央)の下にカップを置いてください。熱湯(冷水)注出ボタンを押している間注出されます。

※熱湯・冷水ボタンは押し続けた場合、60秒で一度停止します。続けて注出する場合は一度指を離してもう一度ボタンを押して下さい。

## 3 パウダー増量ボタン




パウダー増量ボタンを注出前に押すと濃いめのランプが点灯し、次に注出する銘柄のパウダーを増量して注出します。(増量割合は設定画面で設定します。)
注出中に押しても増量しませんので、必ず注出前に押してください。1杯注出するごとにパウダー増量ボタンはキャンセルされますので、増量を行って注出する度に押してください。

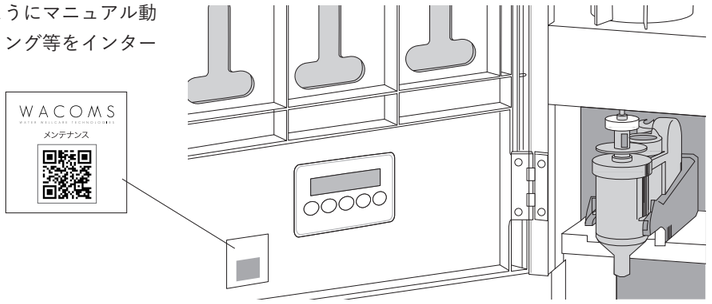
> 注意
> ・チャイルドロックが設定してある場合、HOTボタン、熱湯ボタンは設定した秒数の間ボタンを押し続けないと注出されません。
> ・注出中はカップに触れたり、カップステージの上に手を入れないでください。
> ・注出口から熱湯がでます。やけどにご注意ください。

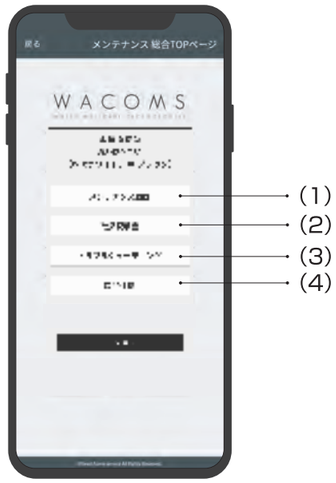
# メンテナンスサイト

お客様が簡単にメンテナンスできるようにマニュアル動画や取扱説明書、トラブルシューティング等をインターネットで公開しています。

下記のURLよりアクセスしていただくか、本体扉裏のQRコードよりアクセスして下さい。

〈メンテナンスサイト　URL〉
https://wacoms.jp/maintenance/




1 メンテナンス動画

清掃・パーツの交換・設置・設定・引上のマニュアル動画を公開しています。

2 取扱説明書

付属の取扱説明書を公開しています。

3 製品仕様

本体画像や仕様を公開しています。

4 サービスパーツリスト

フレーバーカードについて確認できます。



# お手入れ方法

## 1 外観清掃

### 1 製品本体はよく絞った清潔な布巾で拭いてください

製品本体はよく絞った布巾で拭いてください。汚れが落ちにくい時は中性洗剤で拭いてから、乾いた布でよく拭き取ってください。(誤動作の原因になりますのでボタン面は濡らしたままにしないでください。)

| | |
|---|---|
| 禁止　お手入れにはシンナー、ベンジン、クレンザー、たわし等を使用しないでください。表面に傷がついたり変色したりする場合があります。 | 注意　本体は水につけたり、水をかけたりしてのお手入れはしないでください。ショート・感電の恐れがあります。 |

## 2 カップステージ(毎日)

### 1 カップステージを引き上げる

カップステージの中に水が溜まったら、カップステージを上に引き上げて抜いてください。

### 2 中の水を捨てる

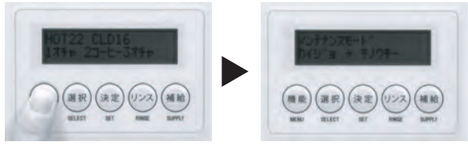
カップステージのフタを外して、中の水を捨ててください。

### 3 カップステージとフタを中性洗剤で洗う

カップステージのフタを中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかり拭き取って、元の位置へ戻してください。

## 3 内部清掃(毎日推奨)

### 1 メンテナンスモードに切り替える




上部扉を開け本体扉裏側の設定パネルの機能ボタンを押し、メンテナンスモードに切り替えます。

### 2 各部品を取り外す

キャニスタ・キャニスタパイプ・ミキシングボウル・排気ダクトを取り外します。

⚠ 中板に触れるとやけどする恐れがあります。

### 3 内部を拭く

ぬるま湯で湿らせたタオルをよく絞って内部を拭き、乾いたタオルで拭き上げてください。

### 4 各部品を元に戻す

キャニスタ・キャニスタパイプ・ミキシングボウル・排気ダクトを戻します。

### 5 メンテナンスモードを解除する

本体扉裏側の設定パネルの機能ボタンを押し、メンテナンスモードに解除して、扉を閉めます。



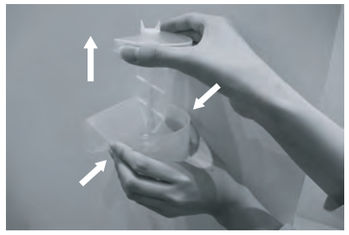
## 4 キャニスタ(毎回)・キャニスタパイプ(必要時)

キャニスタの中のパウダーを使い切ったら、新しいパウダーを入れる前に洗浄してください。

### 1 製品本体から取り外す

製品本体からキャニスタとキャニスタパイプを取り外してください。

### 2 キャニスタの軸部分を引き抜く

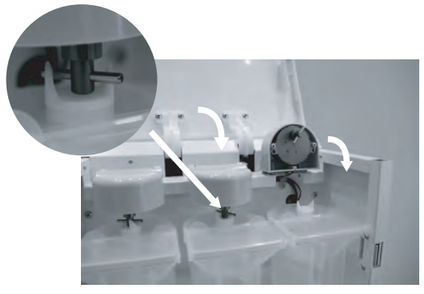


キャニスタのフタ部分を開け、左図のキャニスタの側面部分を同時に押して、キャニスタの軸部分を引き抜いて外してください。

### 3 部品全てを中性洗剤で洗う

部品は全て中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかり拭き取ってください。水をしっかり拭き取らないと、新しいパウダーを入れたときにパウダーが固着し、キャニスタが回らずにパウダーが出なくなることがありますのでご注意ください。(パウダーが固着している場合は、ぬるま湯に浸け置きしてください。)

### 4 元のように組み立てる

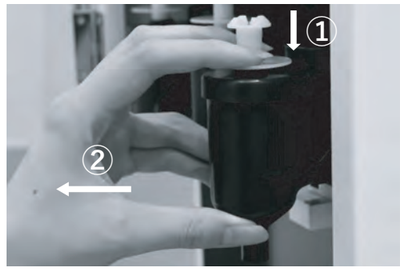


元のように組み立て、製品本体に戻してください。
この時、フタについている軸に無理な力をかけないでください。

# お手入れ方法(メンテナンスモードにしてから行ってください…P14参照)

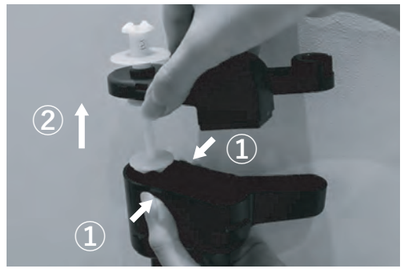
## 5 ミキシングボウル(毎日)、排気ダクト(必要時)、ファンフィルター(必要時)

### 1 ミキシングボウルを引き抜く



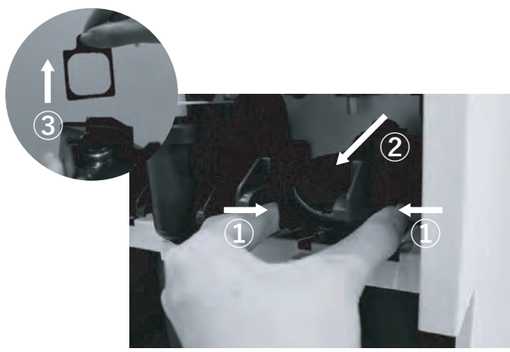

ミキシングボウルのミキシング軸のつばを押し下げてミキシングボウルを引き抜いてください。

### 2 フタ部分を分離させる




ミキシングボウルの左図横矢印部分を押してミキシングボウルのフタ部分を分離させてください。各部品を中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかりと拭き取り、元のように組み立ててください。

### 3 フタ部分を分離させる

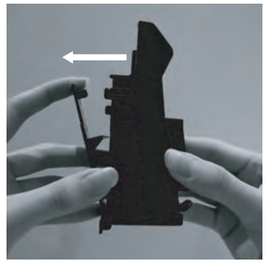



排気ダクトの左図横矢印部分を押して排気ダクトを外してください。ファンフィルターを引き抜いて、網の汚れを水またはぬるま湯で洗い流してください。
その後、ファンフィルターを乾いた布で拭いてください。

⚠ 強い力をかけると網が破損することがありますのでご注意ください。

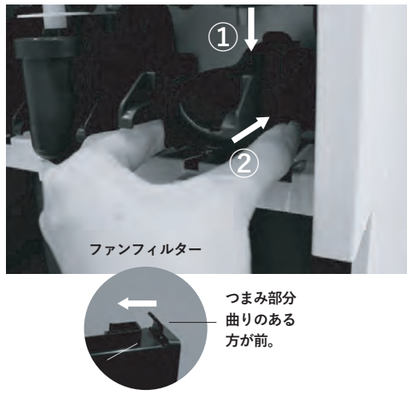


### 4 排気ダクトを分解し、中性洗剤で洗う



排気ダクト底のツメを押して排気ダクトを分解し、中性洗剤で洗い、よくすすいだ後に水分をしっかり拭き取ってください。

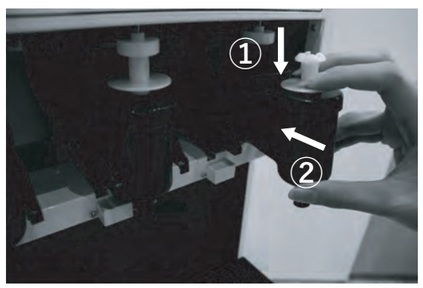
### 5 ファンフィルターを差し込み、排気ダクトを差し込む




ファンフィルターを差し込んだ排気ダクトを元の位置に置き、カチッと音が鳴るまで奥に差し込んでください。
元のように組み立ててファンフィルターを差し込み、本体にセットしてください。

⚠ 排気ダクトは本体にしっかり取り付けてください。
位置がずれて噛み合いが悪いと注出中の異音の原因となります。

### 6 ミキシングボウルを、排気ダクトに差し込む




ミキシングボウルを排気ダクトのガイドの上にのせて差し込んでください。その際にミキシング軸のつばを押して下に下げながら差し込み、ミキシングボウルと本体のクラッチ部分がしっかり噛み合うように調整してください。

⚠ ミキシング軸のクラッチ部分はしっかり取り付けてください。位置がずれて噛み合いが悪いとミキシングが回らなかったり注出中の異音の原因になります。

# お手入れ方法

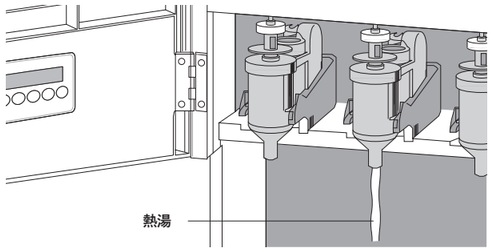
## 6 リンスクリーニング

ミキシングボウル内を湯で洗浄します。

### 1 カップステージ内を空にする

カップステージ内を空にしてください。

### 2 設定パネルのリンスボタンを1秒間押す

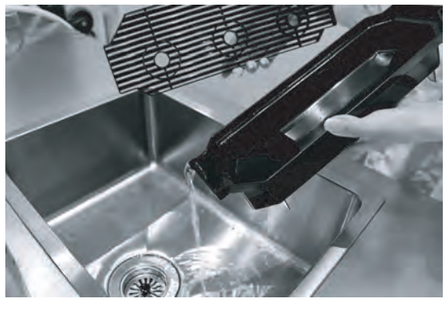



本体扉裏の設定パネルのリンスボタンを1秒間押します。
※各ミキシングボウル内に順番に湯を流し、ミキシングを行って内部を洗浄します。

> ⚠ 注出口から熱湯が出ますので、ご注意ください。
> ※約25mlが3回(合計75ml)注出されます。

### 3 リンス終了後カップステージを取り出す

カップステージを取り外し、中の水を捨てセットし直してください。





# 浄水器フィルター交換前作業

## 1 フィルター交換前の確認事項

浄水能力を維持するため、定期的なフィルター交換の推奨をしています。
４本のフィルターそれぞれ交換時期が異なりますので、右図を参考に適宜交換をお願いいたします。

| | 交換年数 |
|---|---|
| 第一フィルター | 1年 |
| 第二フィルター | 1年 |
| 第三フィルター | 4年 |
| 第四フィルター | 1年 |

※フィルターの交換時期は、原水の水質・水圧・水温およびご使用水量によって大幅に変わることがあります。

※交換時期の目安を過ぎたまま使い続けると、フィルターの目詰まりにより、水質の低下、流量の低下につながる恐れがあります。

（電気系統および浄水器本体の故障につながる恐れがあります）

フィルター交換時に溢れた水は作業完了後に拭き取ってください。

フィルターは通水させてから出荷をしています。
長期間保管されている場合はフィルターの劣化を引き起こす可能性がありますので、商品到着後2週間以内のご使用をお願いします。

フィルター交換作業を手配することも可能です。まずは販売店までご連絡ください。
なお、別途発生する作業費につきましては、お客様負担となります。※有償

※交換した使用済フィルターはお住まいの地域の指定する方法で処分をしてください。

## 2 フィルター交換前作業

1 ティーサーバーのヒータースイッチをオフにし、本体の電源スイッチをオフにします。
浄水器の電源コードプラグを抜き、キャビネットの扉をあけます。

2 分岐止水コックを「とじる」に回します。

3 高圧タンクのバルブを「とじる」に回します。

4 容器を用意し、浄水器内の逃がしバルブに接続されている緑色のチューブを容器に受けます。

5 逃がしバルブを「あける」にし、浄水器内部に溜まった水と圧力を抜きます。
※浄水器内部に溜まっている全ての水が抜けるわけではありません。

6 水が出なくなったことを確認しフィルター交換作業に入ります。

# 浄水器フィルター交換

・必ず前項の確認事項をよく読み、交換前作業を行ってから作業してください。
・ビニール手袋をして作業を行ってください。
・フィルターに挿し込まれているキャップは外して、廃棄するフィルターに挿し込んでください。

⚠ フィルター取り外しの際は水がこぼれますのでご注意ください。

⚠ 交換する際は挿し込み口とチューブの番号が一致するように注意してください。

## 1 第1(プレカーボン)・第2(セディメント)フィルターの交換

**1**

①と印字されているチューブを第1フィルターから抜きます。
②と印字されている継手を第2フィルターから抜きます。

**2**

第2フィルターをつかみ
第1フィルターごとホルダーから取り外します。

**3**

交換するフィルターを取り付けます。

※フィルターには向きがありますので必ず元の向き通りに取り付けてください。
(P6　浄水フロー図参照)

①と印字されているチューブを第1フィルターに挿し込みます。
②と印字されている継手を第2フィルターに挿し込みます。

※チューブの挿し込みが十分ではない場合、浄水器稼働時に水漏れが発生する可能性があります。継手はしっかりと挿し込み、チューブは黒の目安ラインまで挿し込んでください。

## 2 第4(ミネマリン)フィルターの交換

**1**

③と印字されているチューブを第4フィルターから抜きます。

第4フィルター下部の④と印字されている継手からチューブを抜きます。継手を外すと水がこぼれてきますので作業完了後に浄水器下部に溜まった水を、キッチンペーパーなどの清潔な布で拭きとってください。

**2**

第4フィルターをホルダーから取り外します。

**3**

交換するフィルターを取り付け、チューブ、継手を挿し込みます。

④と印字されている継手を第4フィルター下部に挿し込みます。
③と印字されているチューブを第4フィルター上部に挿し込みます。

※フィルターには向きがありますので必ず元の向き通りに取り付けてください。
(P6　浄水フロー図参照)
※チューブの挿し込みが十分ではない場合、浄水器稼働時に水漏れが発生する可能性があります。継手はしっかりと挿し込み、チューブは黒の目安ラインまで挿し込んでください。

## 3 第３(逆浸透膜)フィルターの交換

**第４フィルターを取り外した状態で第３フィルターの交換をしてください。**

1 ⑤の継手、⑥・⑦のチューブを取り外します。
⑥のチューブを取り外すと水が溢れてきますので、作業完了後に浄水器下部に溜まった水をキッチンペーパーなどの清潔な布で拭いてください。

2 第3フィルターをホルダーから取り外します。

3 交換するフィルターを取り付けます。

※フィルターには向きがありますので必ず元の向き通りに取り付けてください。
（P6　浄水フロー図参照）

⑤と印字されている継手を第3フィルター上部に挿し込みます。
⑥、⑦と印字されているチューブをそれぞれ印字されている継手に挿し込みます。

※チューブの挿し込みが十分ではない場合、浄水器稼働時に水漏れが発生する可能性があります。継手はしっかりと挿し込み、チューブは黒の目安ラインまで挿し込んでください。

⚠ 浄水器本体内に使用されているチューブや部品は、ご使用の環境や原水の状況、ご使用年数により交換・メンテナンスが必要な場合があります。
製品に異常が発生した場合は弊社指定サービス窓口までご連絡ください。



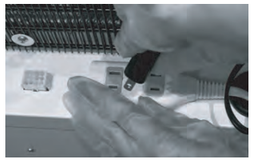
# フィルター交換後確認作業

・ティーサーバーの電源が入っていないことを確認してください。
・高圧タンクのバルブが「とじる」になっていることと、逃がしバルブが「あける」になっているかを確認してから作業をしてください。
・逃がしバルブに接続されている緑色のチューブは容器に受け止めておいてください。

## 1 フィルター交換後確認作業

1 分岐止水コックをゆっくりと「ひらく」に回します。
蛇口(水栓)からキャビネットまでの接続箇所に水漏れがないことを確認します。

2 浄水器の電源コードプラグを入れます。
※浄水器の電源を入れてから約30秒間はオートフラッシング機能(逆浸透膜洗浄)が働くため、２Ｐカプラーから勢いよく廃棄水が排水されます。排水がされていることを確認してください。



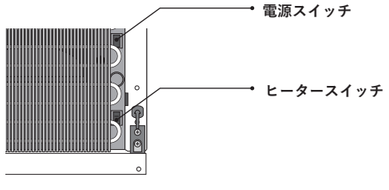
3 逃がしチューブから浄水が出てくることを確認します。
※オートフラッシング中は造水されないため、逃がしチューブから水は少ししか出てきません。
オートフラッシングが終了する約30秒後に逃がしチューブから浄水が出ていることを確認してください。
その際、浄水器内に水漏れがないことを確認します。

4 逃がしバルブを閉めます。
※逃がしバルブを閉じると浄水器は停止します。
高圧タンクバルブを開けます。
※高圧タンクバルブを開けると、再度浄水器が可動します。
その状態で再度浄水器内に水漏れがないことを確認します。
※稼働しない場合は、高圧タンクが満水になっているため、逃がしバルブを開け、出てくる水を容器に受け止め、浄水器が可動することを確認し、浄水器内に水漏れがないことを確認します。

逃がしバルブ　高圧タンクバルブ

水漏れ確認

5 ティーサーバーの電源スイッチを入れます。
※60秒間の点滅状態から点灯状態へ切り替わった後に、ヒータースイッチを入れてください。60秒経過しても点灯にならずに点滅状態の場合は、ティーサーバー及び浄水器ユニット内の高圧タンクに浄水が溜められていない状態の可能性があります。しばらく待ってから点灯状態になることを確認してください。
※電源を入れた直後は冷却や加熱が十分ではないため、冷たい飲料や温かい飲料が出ません。しばらくたってからご使用ください。
※タンクバルブが「あける」、逃がしバルブが「とじる」になっていることを確認し、浄水器ユニットから水漏れが無い事を確認してから作業を終えてください。



# 長期保管時・引き上げ時のお手入れ

## 1 ヒータースイッチをオフにする

製品の裏側にあるヒータースイッチ(赤)をオフにしてください。
1時間程度放置して中の温度を下げてください。

## 2 キャニスタ内のパウダーを出す

キャニスタ内のパウダーが入る大きさのビニール袋を用意し、本体からキャニスタを取り出します。キャニスタの軸を外し、袋にパウダーを出してください。取り出したパウダーは冷蔵庫で保管してください。

## 3 浄水器及び高圧タンク内の水を出す。

浄水器電源コードプラグを抜き、分岐止水コックを閉じ、タンクバルブを閉じます。
容器を用意し、逃がしバルブに接続されている緑色チューブを容器に受け、逃がしバルブを開け、水を出します。

浄水器上部の「水道水」「排水」「高圧タンク」「浄水」の各継手からチューブを抜き、浄水器を引き出し、高圧タンクを取り出します。
シンクまで移動しタンクバルブを開け、接続されている黄色チューブからタンク内に溜まった水を出し切り、タンクバルブを閉じたあと、所定の位置に戻します。

## 4 お湯が出なくなるまで熱湯ボタンを押し続ける

熱湯ボタンをお湯が出なくなるまで押し続けてください。(注出口2に耐熱性のある容器を置いてください。約800mlのお湯が出ますので、やけど・溢れに注意して下さい。)
60秒で一度注出が停止します。一度指を離し再度ボタンを押してください。

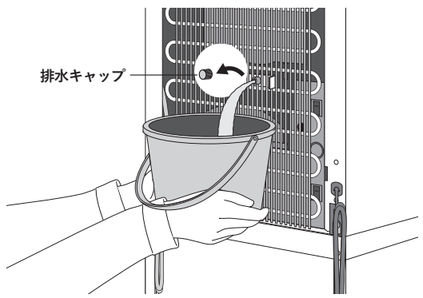
## 5 水が出なくなるまで冷水ボタンを押し続ける

冷水ボタンを水が出なくなるまで押し続けてください。(注出口2に容器を置くかカップステージにて、溢れに注意して受けてください。)
60秒で一度注出が停止されます。一度指を離し再度ボタンを押してください。

## 6 ティーサーバー電源プラグを抜く

電源スイッチ(黒)をオフにしてコンセントから差し込みプラグを抜いてください。
延長コードの差し込みプラグもコンセントから抜きます。

## 7 湯タンク内の水を出し切る




3L以上入る耐熱性のある大きめのバケツを用意し、製品の裏側にある排水キャップを外して湯水タンク内の湯を出し切ってください。
この時、排水キャップが付いていたパイプから勢いよく湯が出ますのでやけどにご注意ください。

⚠ パイプから湯が出ます。やけどにご注意ください。
延長コードコンセントにお湯がかからないようにご注意ください。



# トラブルシューティング

**●修理を依頼される前に下記の点をご確認ください。**

1.ティーサーバーに電源が入らない(ボタンランプが消灯、表示画面が出ない)
- 差し込みプラグがコンセントに差さっていますか
- 本体裏面の電源スイッチは入っていますか
- コンセントを使用しているブレーカーが落ちていませんか
- 明かりセンサーがオンになっており、且つ室内の明かりが暗くはありませんか…P16参照
- メンテナンスモードになっていませんか…P14参照

2.飲料が出ない(ボタンランプが点滅)
- 設定パネルの表示が「キュウスイ　カラ　or　ハイスイ　マンタン」になっていませんか
- 分岐止水コックが「とじる」になっていませんか
- 浄水器ユニットの浄水器本体からの水漏れにより、内部フロートスイッチが上がり、浄水器が停止していませんか
- 浄水器ユニットの高圧タンクのバルブが「とじる」になっていませんか
- チャイルドロックが有効になっていませんか…P15、19参照

3.飲料の味がおかしい(パウダーが出ない、味が濃い、薄い等)
- キャニスタの中にパウダーが入っていますか…P18参照
- キャニスタが空の状態からパウダーを供給した場合に、キャニスタの軸を回して先端までパウダーを送り込んでありますか…P18参照
- キャニスタの中やスクリュー部分でパウダーが固まっていたり、変質したりしていませんか…P23参照
- パウダー量は正しく設定されていますか…P14参照
- 銘柄は正しく設定されていますか(コーヒーのパウダーを使用する際にコーヒーの設定になっていますか)…P14参照
- 湯量(水量)は正しく設定してありますか…P14参照
- ストロング(パウダー増量)ボタンを押していませんか…P19参照
- ミキシングボウル内にパウダーが固着していませんか…P23参照
- ミキシングボウルが正常に取り付けてあり、注出時に回転していますか…P24参照

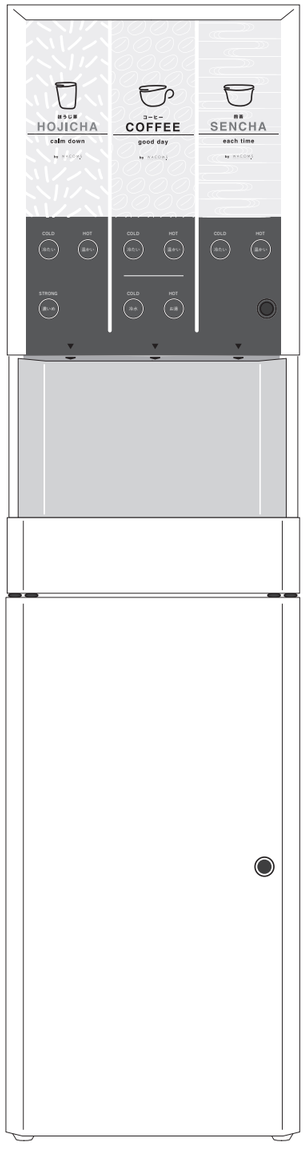
4.温度がぬるい
- HOT・COLDの温度設定がお好みの温度に設定されていますか
- 連続で何杯も注出した後ではありませんか
- 本体裏面のヒータースイッチはオンになっていますか
- 電源が入った直後または製品内の水が空の状態から給水した直後ではありませんか…P12参照
- 省電力モード(明かりセンサーオン)から復帰直後ではありませんか…P16参照

5.注出中に異音がする
- ミキシングボウルのクラッチはしっかり嵌っていますか…P24参照
- 排気ダクトはしっかり取り付けてありますか…P25参照
- キャニスタ内にパウダーが固着または粒度が細かくて重いパウダーが大量に入っていませんか…P18参照
- ミキシングボウル内にパウダーが固着していませんか…P24参照
- ミキシングボウルが正常に取り付けてあり、注出時に回転していますか…P24参照

6.水が漏れる
- 本体とキャビネットのチューブの挿し込みをご確認ください。…P9参照

7.注出が止まらない
- 表面のボタンの周りが濡れていませんか…P21参照

# 仕様




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 型番 | セット：WS420-SV1-WH（ホワイト）、WS420-SV1-BK（ブラック）<br>本体：WS420-TS1-WH（ホワイト）、WS420-TS1-BK（ブラック）<br>キャビネット：WS420-CBI-WH（ホワイト）、WS420-CBI-BK（ブラック） |
| 外形寸法 | 全体：幅330mm高さ1278mm奥行495mm |
| | 本体：幅330mm 高さ663mm 奥行450mm |
| | キャビネット：幅330mm 高さ615mm 奥行495mm |
| 重量 | 35.5kg（本体22.5kg下部キャビネット13.0kg） |
| 梱包寸法 | 本体：幅420ｍｍ高さ690ｍｍ奥行555ｍｍ<br>（170サイズ）　25.5kg |
| | キャビネット：幅420mm高さ640mm奥行605mm（170<br>サイズ）16.5kg |
| 電源 | AC100V　50/60Hz |
| コード長 | コンセントタップ3m |
| 消費電力 | 温水　600W |
| | 冷水　105W |
| 冷水タンク | SUS304　2.4L |
| 冷却冷媒 | R-134a |
| 温水タンク | SUS316　1.8L |
| 飲料種類 | 粉末HOT飲料×3 粉末COLD飲料×3<br>湯×1冷水×1 |
| キャニスタ<br>（原料ボックス） | 470ml×3ヶ |
| カップステージ<br>（貯水量） | 1.5L |
| 衛生機能 | 注出口DUV殺菌　内部タンクDUV殺菌　UV-LED(UV-C)<br>ノータッチスイッチ（ON / OFF可） |
| その他機能 | 自動洗浄（リンス）機能、省電力（ナイトスリープ）機能、<br>ストロング（パウダー増量）ボタン、<br>チャイルドロック |
| 搭載浄水ユニット<br>「WS300-S1CH」重量 | 直結式浄水ユニット(使用時重量)<br>浄水器本体：約8kg<br>タンク：約14kg |

## 商品に関するお問い合わせはこちら

**株式会社フォレストホームサービス**

フリーコール 0800-170-4010

FAX:075-231-8166
10:00 ~ 19:00 受付（月~一部土曜日/祝日）
※電話が繋がらない場合は、下記の弊社ホームページ
　にて営業日・営業時間をご確認ください。
https://www.forest-hs.com/